

横浜市踊場公園こどもログハウス

指定管理者選定委員会

審査報告書

令和3年8月

1 経緯

横浜市踊場公園こどもログハウス第4期指定管理者の選定にあたり、横浜市踊場公園こどもログハウス指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、応募者から提出された応募書類の内容審査や公開プレゼンテーションを行いました。

このたび、審査が終了し、指定候補者を選定いたしましたので、審査結果を報告します。

2 選定委員会 委員

委員長 菊池 賢児 戸塚区踊場地区連合町内会会長
委員 市川 美季 税理士
福本 雅美 戸塚区地域子育て支援拠点とっこの芽施設長
山ノ内 尊雄 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本神奈川事務局長
渡辺 利通 戸塚区子ども会連絡協議会会長
(吉田洋子委員は令和3年5月11日をもって都合により辞退しました)

3 指定候補者 選定の経過

経過項目	日程
◆第1回選定委員会（傍聴者0名） 1 委員長、職務代理者の選出 2 選定スケジュール、会議の公開、非公開について 3 横浜市踊場公園こどもログハウス第4期指定管理者 公募書類の決定	令和3年4月12日（月）
公募書類の配布（ホームページにて公表）	令和3年4月26日（月）～
現地見学会兼公募説明会（参加必須） ※申込1団体、3名	令和3年5月14日（金）
公募に関する質問受付（質問なし）	令和3年5月14日（金） ～5月21日（金）
応募書類の提出（1団体）	令和3年6月16日（水） ～6月18日（金）
◆第2回選定委員会（傍聴者0名）	令和3年7月21日（水）

◆は選定委員会

4 選定にあたっての考え方

選定委員会では、「横浜市踊場公園こどもログハウス指定管理者公募要項」（以下、「公募要項」という。）において、あらかじめ定めた評価基準項目に従って、応募者から提出された応募書類を審査し、指定候補者を選定しました。

選定にあたっては、審査として応募書類の内容審査及び公開プレゼンテーション（発表及び質疑応答）を行いました。

なお、評価は、各委員が125点満点で採点した上で集計しました。

※ 125点と別に加減点項目として、次の項目を採点しました。

- ・「市内中小企業等であるか」として上限5点
- ・現指定管理者のみ「実績評価」として上限5点、下限－5点

5 応募者の制限の確認

公募要項に定める「応募者の資格」に該当すること、「欠格事項」「応募者の失格」に該当のないことを確認しました。

(1) 応募者の資格

法人その他の団体、又は複数の法人等が共同する共同事業体であること（以下「団体」という）
（法人格は不要。ただし個人は除く）

(2) 欠格事項

次に該当する団体は、応募することができません。

- ア 法人税、法人市民税、消費税及び地方消費税等の租税を滞納していること
- イ 労働保険（雇用保険・労災保険）及び社会保険（健康保険・厚生年金保険）への加入の必要があるにもかかわらず、その手続きを行っていないもの。
- ウ 会社更生法・民事再生法による更生・再生手続中であること
- エ 指定管理者の責に帰すべき事由により、2年以内に指定の取消を受けたものであること
- オ 地方自治法施行令第167条の4の規定により、横浜市における入札参加を制限されていること
- カ 選定評価委員が、応募しようとする団体の経営または運営に直接関与していること
- キ 暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は暴力団経営支配法人等（横浜市暴力団排除条例（平成23年12月横浜市条例第51号）第2条第5号に規定する暴力団経営支配法人等をいう。）であること
- ク 2年以内に労働基準監督署から是正勧告を受けていること（仮に受けている場合には、必要な措置の実施について労働基準監督署に報告済みでないこと）

6 応募団体と選定結果

選定委員会において厳正な審査を行った結果、公募要項で定める最低基準点（6割）を超えたため、次の団体を指定候補者に決定しました。

順位	団体名
指定候補者	公益社団法人とつか区民活動支援協会

7 得点

	選定の評価基準	配点	指定候補者
(1)	団体の状況	125点	112点
(2)	職員配置・育成	25点	20点
(3)	施設の管理・運営	175点	158点
(4)	事業の企画・実施	200点	171点
(5)	収支計画及び指定管理料	50点	45点
(6)	新型コロナウイルスへの対応等	50点	46点
小計		625点	552点
(7)	加減点項目	50点	47点
合計		675点	599点

8 審査講評

【指定候補者】公益社団法人とつか区民活動支援協会

前指定管理期間を含めて、長年に渡り培われたこどもログハウスの管理運営の実績が反映された充実した提案内容であった。特に、イベント時において中高生ボランティアを採用するなど、地域との連携に努め、参加者の安全性、利便性向上に努める姿勢が見られる点を評価したい。

また、子どもが多く利用する施設の特性を理解し、未然の事故防止という観点で利用者の安心安全に繋がる取組みが具体的に示されている点からも、安定した運営が期待できる。

こどもログハウスは戸塚区に1館しかない施設であるため、周辺施設に限らず、区内の他施設との連携などにより、育児期後の子どもの居場所として広く区民に親しみを持ってもらえるよう取り組むことが重要である。

第4期指定管理期間においては、提案内容を確実に実施していくとともに、子どもを取り巻く環境にも視野を広げ、青少年の健全育成という観点から施設が果たす役割にアプローチしていく姿勢を期待したい。